



平成8年11月20日 第39号 発行所 武張 3000-2637

用賀ふるさとめぐり テクタクコース



玉川地域には、世田谷ふるさとめぐり、テクタクコースが四つ完成しています。兵庫コース、等々力溪谷コース、九品川コース、駒沢公園コースです。

これは玉川地域活動団体連絡協議会が十年間に亘って続けて来た「ふるさとめぐり」起し事業によるものです。

今後、玉川台、用賀、上用賀の地区に坂井町、公苑コースを予定、石標設置をする事になりました。

この事業を進める為、私たちの町でも、去る九月に石標設置委員会が設立し、皆様の幅広いご意見をもちに場前の選定とか資金づくりに取り組むことに合意いたしました。

都市化が急速に進む中でわが町を見直し、ふるさとを足跡を次の世代に残す機会になればと思います。

(用賀石標設置委員会)



玉川の新しい神輿

このたび、瀬田玉川神社の玉川町会氏子有志により六十五年ぶりに新しいお神輿が奉納されました。

十月十四日から十八日まで玉川高島屋ビル南館で一般公開、続いて富士観音館にて披露パーティーが盛大に行なわれました。

秋の例大祭は十月十九日二十日、二十数団体の助っ人を得て町内を巡行。最後は高島屋前の玉川通りを賑やかに練り歩きました。

ちなみに、新神輿は高さ約2m30cm、赤銅装束の色あざやかな出来映え。

旧神輿も木彫の芸術品なので、女神輿として伝えていくとのこと。



あんなにまちの話題

谷川雨水トンネル

西用賀通りの下に雨水貯水溝トンネルが完成した事は前回ご紹介しました(がその効果のほどはどうでしょうか。)

去る9月22日、台風17号が房総沖をかすめて行きました。例年ならば様々な水の被害がありました。今年には地下室浸水が数件で済んだとか。その役割は充分果たせたと思われま。

コンクリートで覆われた部会の河川は、少しの雨ですぐ増水し、またたく間に元に戻るという特性があります。3万トンを越える貯水能力は一時間28tの今回の豪雨には耐えられた様です。

瀬田地区会館

平成六年十一月、瀬田地区会館が、地域住民の永年の要望と関係者の尽力により開設されました。

住宅地で環境は良い場所ですが、周辺に気兼ねしなから利用です。

地域団体、老人会、各婦人団体等主要利用者が、希望日が多くなることが多く、その場合は話し合いで決めておきます。

利用の内容はいろいろですが、毎月第三金曜日に、瀬田こぶしの花給食会、の主催で、一人暮らしの高齢者を招き食事の会を開いておきます。

この様な利用法は、まことに有意義なことと思います。

用賀の町並みは道が基盤

用賀の町並みは道が基盤の目の玉になっていくのが特色です。この東西方向の道に、わかり易い「条通り」名をつけて呼ぼうと云う運動が十年続けられて来ましたが、いよいよ来年春に実施と準備が進んでいます。

新玉川線用賀駅を下車して北へ向い、京西小は二本目、用賀地区会館や用賀中は四本目、ふじみ荘は八本目、タンザニア大使館や用賀小は十本目、この道を○条通りと呼ぼうと云うものです。

一番身近な町づくり手づくり、あなたもお仲間入り。 (条通り実施委員会)



鈴木 武一

夕ぞら暗れて語ぐも足にからんだ靴さくらそんな景色があつたけな用賀、玉川、瀬田むかし浮世こがらし走馬灯新玉線が走り出し明治生れはビツクリコ30分て...水天宮...

それは言わずお仕舞いヨ、今はきけない名セリフ日本のアイドル寅さんは秋を待たずに逝っちゃったそんな悪カゼある中で選挙のカゼは尚怖い

永田町でもアメリカもなんか切り抜け昨日今日ホッとするやらしないうち次ぎく超る苦勞カゼまだありました不況カゼアレコレ上手にやり過ぎバツチ先生たのみます

わたしが歌って待ってます変な病気が流行出し0回とか言った、けマタラに怖れおのいて感涙涙もわからない給食カワイレなのかしらサラダじゃないと八百屋さん

漢字事件もホリ出されシツカリ頼むよ厚皮歯ッ拾って食べてもあたらな強い田舎の子供達

一体どこに消えたんだ霜月なんでもイベンバー来年こそはお元氣なよい年こいよと祈ります



郷土紹介

玉川村金子村長

明治三十二年(一八八九)

新しい地方行政制度の発足に伴い、用賀、瀬田、野良田、上野毛、下野毛、尾山等々力、奥沢の旧八ヶ村は合併して玉川村となった。

玉川村形成時の村内戸数は八三六、人口は四八〇〇人余りであった。この玉川村は役場を等々力に置いて昭和七年(一九三二)世田谷区が成立するまで、四十三年間続いた。この間、村長は八人が務めているが、内二人は用賀村出身者だった。一人は第四代の金田鉄五郎氏(米穀商)で、もう一人は第七代の金子為太郎氏である。

トビックス

第15回中学生話し方コンクールが10月5日、上用賀アートホールで開催され、瀬田中、用賀中の生徒12人が日頃の考えを発表しました。

最優秀には、大人社会の偽善に対して疑問を抱き、人間として誇り真実を考へ続ける「大人にならねば」を発表の瀬田中時枝二年、五月女雅衣さんが選ばれました。

話し方コンクール

今回は、環境をテーマにした内容が多く、また海外体験を生かした発表など、所代を確実に感じ取った、しっかりとした発表に、会場の聴衆も感心しきりでした。発表してくれた12人の皆さん、ありがとうございました。

吉権・青年用賀地区委員会

金子氏が村長に就任したのは明治四十五年、金子屋と云う屋号で酒造業を営み村内有数の資産家でもあった。大正年間には玉川村が少しづつ近代化への歩みを始めた時期、現在の桜新町や田園調布の住宅地が開発されて行くのも、この頃である。大正九年、第一回国勢調査が行なわれ、村内戸数は一三二七であった。

大正十二年、金子村長は村政を第八代豊田正治氏に引き継ぎ、続く玉川金井村地整理事業の発起人に加わり、賛否両論が渦まき中で昭和九年、門前田三の工事に着手する。

そして、工費完済を見ぬまま、昭和十年十月、その生涯を終えた。

清和事務所より

事業系ごみ全面有料化

東京23区内では、12月1日から事業系ごみが全て有料になります。事業系ごみには更に現金(シール)の有料ごみ処置券を貼って出して下さい。ごみ処理所では早業系ごみと家庭ごみが混じらないよう分けて頂くようご協力をお願いします。※家庭ごみは今までは同様です。

粗大ごみの受付窓口がわかりやす

11月1日から、23区内の申し込み先が統一されました。粗大ごみ受付センター(03-296-7000)へ電話でお申し込みください。問い合わせ先は東京都玉川清掃事務所(03-296-7000)です。

花を描くはろこび

櫻井由 長沼 直

戦争で失った青春を取り戻すことに夢中だった私が最後に出会った日本画で、六十の手習いがはじまりました。

初めての教室に先生の持つて来られた紅いごつまいもから、普段台所では気付けなかった部分がいよいよ見え、定んだ黒子のようなどころから細い線が出ていたり、切口が黒ずんで見えたり、所どころの色の違いなど先生のご指導に従って正直に描くことにしました。はじめは自信がなかったのに不思議なほど食べたくなるようなごつまいもが出来てきました。よく物を見る、この繊細な目

趣味の広場

本画が私の性に合ったらしく、以来、花ばかり描いた六冊の画帳が私の歩みを記録して、宝物になっております。何も彼も忘れて絵に没頭出来る時間は、私にとって良いストレス解消にもなっています。

今は独学ですが、国民絵画展への応募を唯一の刺激として、年に一度の作品の創作に励んでいます。

高齡化の時代、七十の手習いもおそくはないと思います。



首都高速道路

橋脚補強工事の

お知らせ 第2

昨年12月にお知らせしました3号線の工事は、おかげさまで順調に進行しております。

現在は、補強工事の仕上りと共に駐輪場や、児童遊園の復旧工事の準備を進めております。

安全第1で工事を進めてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

首都高速道路公団 東京第一保全部



今年はずりせぬ出来ごとがいろいろと...

初めての小選挙区比例制など、新党が台頭したり、仇敵の死が突然仲良し組織を作ったり、市民に素直の役人が空出聚や、公金のつまみ食い、ニセ報告書がゾロ／＼と...。本文の「あれこれ」も、木枯し風だよりにある様に、01回が猛威をふるい、細部まで大忙し。

世はまさに「混迷の時代」そして39号はテーマを決めず、まわりの話題あれこれを拾ってみました。

(柳田)